

# 技術者の倫理 (Engineering Ethics)

専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
教養	必修	2年後	2	講義	小川 仁志

## 【授業の概要】

新聞にぎわしている事故の多くが、実は技術者の倫理に起因するものであるといえる。とするならば、こうした事故を防ぐためには技術者個人のモラルを高めていくことが不可欠である。また内部告発や倫理規定など組織の問題も、個々の技術者の倫理に大きく影響を及ぼしている。したがってこの授業では、技術者と倫理の問題を様々な角度から検証し、より望ましい技術者像を確立していくことを目標とする。

## 【学修の進め方】

基本事項を確認したあと、具体的な事例を検討し、全員で討議しながらよりよい解決を模索してゆく。グループでの発表も予定している。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】				
1回	技術者倫理の概要	技術者の仕事の特質と倫理との関連を考え、工学倫理について概観する。				
2回	科学技術の歴史と倫理の基礎理論	技術者の倫理を考える上で基礎となる、科学技術の歴史と倫理の基礎理論を確認しておく。				
3回	専門職と組織人の倫理	多くの技術者は組織の中で仕事をするが、組織内でどう判断し行動すべきかについて考察する。				
4回	内部告発	技術者にとって最も困難な状況であるといえる内部告発について考察する。				
5回	製造物責任	製品の安全性について技術者の法的、倫理的責任を考察する。				
6回	技術者と安全	技術者の倫理の重要部分を占める安全性と工学の特質について考察する。				
7回	環境・資源問題と工学倫理	技術と密接に関わる環境倫理学を取り上げ、技術者と環境問題の関係を事例をもとに考える。				
8回	リスクの評価と工学倫理	技術者にとって不可欠であるリスクを評価する手法について、倫理の観点から考察する。				
9回	技術者と法規	技術者を取り巻く様々な法規について、一通り理解しておく。				
10回	知的財産権	昨今、倫理の問題が特に取りざたされる知的財産権の分野において、必要な知識を身につける。				
11回	倫理規程	技術者の倫理を考えるとときに、倫理綱領はどのような意味をもつのか考察する。				
12回	事例演習	事例の演習を通じて、これまでの授業で身につけた理解を確認する。				
13回	事例演習	事例の演習を通じて、これまでの授業で身につけた理解を確認する。				
14回	事例演習	事例の演習を通じて、これまでの授業で身につけた理解を確認する。				
15回	期末試験	上記の内容から出題する。				
16回	まとめ	答案を返却し、解説を加える。				
【到達目標】	技術者に求められる倫理のうち基本的な事項をすべて修得し、未知の問題に対して自分なりの解決策を提示できる能力を身につける。					
【徳山高専学習・教育目標】	A 2	【J A B E E 基準 1(1)】 b				
【評価法】	原則として期末試験の成績による。					
【テキスト】	毎回プリントを配布する。					
【関連科目】	技術者倫理（本科）、倫理、哲学、法学					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】